



明日使えるICT活用術



1人1台端末は便利だけど、子どもたちがどんな使い方をしてしまうか心配もあるなあ・・・という先生方は少なくありません。
 黒板側から見ると子どもが何をしているのか画面が見えないから分からない、知らないうちに有害サイトにアクセスしてしまうのでは、と心配の種は尽きません。今回は、そんな先生方へ向けた記事です。

1人1台端末使用時の指導内容とポイント

自由と責任は表裏一体

マストアイテム(必需品)としての1人1台端末となるようにこれからどんどん使わせていくことが求められています。ただし、学校で使う端末は「学習のため」に存在するのであって、自宅のゲーム機やPCとは違うということをしっかりと理解させなければなりません。一方で、あまりに制限をしてしまうと子どもの自由な発想やひらめきを実現する機会を奪ってしまいます。

この矛盾しがちな2つの条件を両立させるには、何をしてはいけないのかをしっかりと理解させ実行させる必要があります。つまり、子ども自身が善悪の判断ができるように指導することが大切です。より正しい使い方をすることが子ども自らの責任の持ち方であることを理解させましょう。

基本のルール指導

★授業で使うときのルール(例)★

- 机上での置く位置を決める。
- 話を聞くときは閉じる。
※Chromebookは途中で閉じても同じ画面から再開します。
- ネット検索は目的が明確なときだけ。
- チャットやコメントのやりとりは常に丁寧語。

★指導のコツ★

- アクセスした内容は履歴として全てサーバーに保存されており、個人の特定が可能であること、個人で履歴削除できないことを知らせておきましょう。

※ちなみに先生方のアカウントも同様

＜ルールは子どもたちにも考えさせる＞

上のルールは一例です。児童生徒の実態によっては付け加えや工夫が必要になります。

また、授業以外の場など、さらに細かな状況に応じたルールが必要になることがあります。その際には、子ども達自身で考えさせルール作りをさせましょう。
失敗から学ぶこと、自律して主体的に使えるようになることを意図して指導に取り組みしましょう。



教師の心構え

★教師が全て知らなくても大丈夫★

- 児童生徒が思わぬ活用、しかも非常に効果的な活用をすることがあります。子ども達はデジタルネイティブ世代です。子どもから学ぶこともあるのです。これについては、南小の実践が参考になります。

<https://www.youtube.com/watch?v=Mo7RxSoGjVg>



それでも画面チェックしたい！

★教師の立ち位置★

- 画面を見やすい教室の後ろに立ってみましょう。机の配置を一工夫するのもいいですね。

★アプリで管理★

- 児童生徒の端末画面が管理できるWebアプリの導入の計画があります。現在、導入に向けて調整中です。